



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社
 コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森地 高文
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 濱村 和裕 (TEL) 03-5579-5201
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	716,327	0.5	5,873	△8.1	5,368	△18.7	3,122	△23.1
2019年3月期第3四半期	712,650	2.8	6,391	8.0	6,601	0.9	4,059	△11.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,971百万円(40.4%) 2019年3月期第3四半期 2,827百万円(△52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	352.58	—
2019年3月期第3四半期	458.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	297,984	57,702	18.6
2019年3月期	307,590	54,921	17.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 55,572百万円 2019年3月期 52,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	55.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	980,000	2.9	6,900	△12.9	7,000	△12.7	4,600	△8.3	519.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,860,562株	2019年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,714株	2019年3月期	5,618株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	8,854,909株	2019年3月期3Q	8,854,954株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における世界経済は、米国経済が堅調に推移したものの、米中貿易摩擦の長期化等による中国及びアセアン諸国をはじめとする各国経済の減速や、英国のEU離脱問題等の影響により、景気の先行きは不透明な状況となっています。わが国経済は、雇用・所得環境に改善がみられ、緩やかに回復していますが、輸出や生産の弱さが続いており、力強さを欠く状況が続いています。

このような環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は7,163億27百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業利益は58億73百万円(同8.1%減)、経常利益は53億68百万円(同18.7%減)となりましたが、当社が保有する投資有価証券のうち実質価格が著しく下落したものを特別損失として4億63百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億22百万円(同23.1%減)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向けが取扱量・価格ともに横ばいとなり、輸出向けが取扱量・価格ともに下落しました。線材製品は国内向けが取扱量が横ばいとなり価格は上昇しましたが、輸出向けは取扱量・価格ともに横ばいで推移しました。

この結果、売上高は2,450億41百万円(前年同四半期比1.0%増)となりましたが、海外子会社等の減益の影響により、セグメント利益は26億29百万円(同25.3%減)となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加し、価格も上昇しました。冷鉄源、チタン原料は取扱量が増加しました。合金鉄は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は2,302億2百万円(前年同四半期比4.5%増)となりましたが、海外子会社による取扱量減少の影響により、セグメント利益は5億55百万円(同35.6%減)となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管の取扱量が学校用空調の需要好調により増加しましたが、自動車向け端子材用銅板条は在庫調整及び半導体需要の低下により取扱量が減少しました。アルミ製品は半導体向け及び液晶製造装置向け厚板の取扱量が減少しましたが、自動車向けアルミ板条の取扱量が増えました。非鉄原料は銅スクラップの取扱量は増加しましたが、アルミ再生塊の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,562億44百万円(前年同四半期比8.1%減)となり、セグメント利益は10億42百万円(同23.1%減)となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は真空成膜装置及び産業用ブレーキの取扱いは減少したものの、大型圧縮機、重機用部材、電池用材料の取扱いが増加しました。情報関連商品は液晶用材料の取扱いは減少しましたが、HD関連機器及びPC部品の取扱いが増加しました。

この結果、売上高は505億51百万円(前年同四半期比8.0%増)となり、セグメント利益は9億8百万円(同11.7%増)となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は化工機向けの取扱量が減少したものの、造船向けの取扱量は横ばい、建築鉄骨及び建設機械向けの取扱量は堅調に推移しました。溶接関連機器は汎用溶接機及び鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いが堅調に推移しました。また、生産材料は溶剤原料の取扱量が堅調に推移しました。

この結果、売上高は341億5百万円(前年同四半期比4.1%増)となり、セグメント利益は2億85百万円(同133.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,979億84百万円となり、前連結会計年度末比96億6百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金と前払金の減少によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,402億81百万円となり、前連結会計年度末比123億87百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債のその他に含まれる預り金の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は577億2百万円となり、前連結会計年度末比27億80百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

投資有価証券の減損処理については、四半期洗替え方式を採用しており、今後、損失計上額が変動する場合があります。なお、2020年3月期の業績予想につきましては、他の要因を含め、業績予想の修正が必要と判断される場合は、確定次第速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,553	11,528
受取手形及び売掛金	182,963	169,653
電子記録債権	7,259	9,723
商品及び製品	46,176	46,427
仕掛品	703	625
原材料及び貯蔵品	1,640	1,398
前払金	16,050	9,675
その他	5,156	3,975
貸倒引当金	△129	△127
流動資産合計	265,373	252,879
固定資産		
有形固定資産	8,758	8,869
無形固定資産	699	859
投資その他の資産		
投資有価証券	28,146	30,952
その他	5,498	5,471
貸倒引当金	△884	△1,048
投資その他の資産合計	32,760	35,376
固定資産合計	42,217	45,104
資産合計	307,590	297,984
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,067	123,467
電子記録債務	16,304	16,922
短期借入金	38,868	43,653
未払法人税等	743	478
賞与引当金	1,009	548
その他	28,181	24,653
流動負債合計	224,174	209,723
固定負債		
長期借入金	23,685	25,269
役員退職慰労引当金	89	98
退職給付に係る負債	895	871
その他	3,824	4,318
固定負債合計	28,494	30,558
負債合計	252,669	240,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,608
利益剰余金	42,133	44,281
自己株式	△17	△17
株主資本合計	50,412	52,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,480	3,973
繰延ヘッジ損益	△33	0
為替換算調整勘定	△205	△924
その他の包括利益累計額合計	2,241	3,049
非支配株主持分	2,266	2,129
純資産合計	54,921	57,702
負債純資産合計	307,590	297,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	712,650	716,327
売上原価	689,026	692,455
売上総利益	23,624	23,872
販売費及び一般管理費	17,232	17,999
営業利益	6,391	5,873
営業外収益		
受取利息	87	99
受取配当金	797	847
持分法による投資利益	564	474
雑収入	229	290
営業外収益合計	1,678	1,712
営業外費用		
支払利息	822	941
売掛債権譲渡損	276	303
為替差損	78	212
デリバティブ評価損	86	206
貸倒損失	—	277
雑損失	204	275
営業外費用合計	1,468	2,217
経常利益	6,601	5,368
特別利益		
負ののれん発生益	152	—
出資金売却益	—	39
特別利益合計	152	39
特別損失		
投資有価証券評価損	1,080	463
会員権評価損	2	24
特別損失合計	1,083	487
税金等調整前四半期純利益	5,670	4,919
法人税、住民税及び事業税	1,203	1,338
法人税等調整額	324	336
法人税等合計	1,527	1,674
四半期純利益	4,142	3,245
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,059	3,122

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,142	3,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△857	1,502
繰延ヘッジ損益	△82	33
為替換算調整勘定	△251	△738
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	△71
その他の包括利益合計	△1,314	725
四半期包括利益	2,827	3,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,783	3,929
非支配株主に係る四半期包括利益	43	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	242,668	220,302	170,040	46,796	32,743	712,550	100	—	712,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2	—	14	16	186	△203	—
計	242,668	220,302	170,043	46,796	32,757	712,567	287	△203	712,650
セグメント利益又は 損失(△)	3,521	862	1,355	812	122	6,674	△16	△56	6,601

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	245,041	230,202	156,243	50,551	34,102	716,141	186	—	716,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	1	—	3	5	201	△206	—
計	245,041	230,202	156,244	50,551	34,105	716,146	387	△206	716,327
セグメント利益又は 損失(△)	2,629	555	1,042	908	285	5,420	△21	△30	5,368

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。